

静岡・中村遺跡
なかむら

1 所在地 静岡県浜松市南伊場町

2 調査期間 二〇〇二年(平14)八月～二〇〇三年三月

3 発掘機関 (財)浜松市文化協会・浜松市博物館

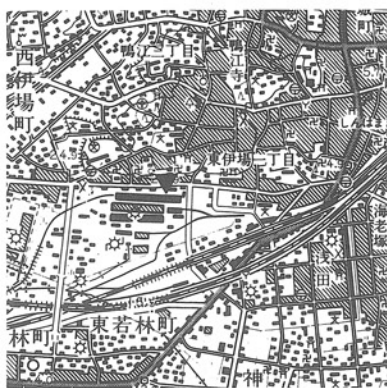
4 調査担当者 鈴木敏則・鈴木 靖

5 遺跡の種類 官衙関連遺跡・自然流路

6 遺跡の年代 七世紀～近世

7 遺跡及び木簡出土遺構の概要

浜松市南部には海岸平野が広がり、近年まで数条の砂堤列と湿地が存在した。中村遺跡は、三方原台地直下において、最初に形成された砂堤列上に立地する。



(浜 松)

発掘調査は、県道竜禅寺雄踏線の拡幅に先立ち、一九九九年から断続的に行なわれてきており、これまでに古代の木簡が出土している(本誌第二二・二三号)。一九九九年調査区からは「里人」や、「部」を「ア」

と表記する七世紀に遡る木簡が出土し、また『和名抄』には記載されていないが、現在の小字名「中村」が古代にまで遡ることが判明している。また、遺跡周辺は中世浜松庄の有力な郷の一つである岡部郷の推定地で、発掘調査でも中世の遺構・遺物が多く検出されており、道を中心とした町屋が形成されていたようである。

今回報告する木簡は七点で、いずれも遺跡の南側を東から西へ流れる埋没河川(梶子北大溝)から出土した。古代のものは二点(うち一点は絵馬の裏面に墨書を確認)のみで、他は中世以降のものである。古代の資料としては他に絵馬一点がある。この埋没河川からは、今回の調査地点の西方五～六〇〇mの調査区(梶子北遺跡)でも、「大領石山」と記された木簡や絵馬などが出土している(本誌第一七号)。

なお、今回出土した木簡のうち(1)が出土した地点は、一九九九年の木簡出土地と現道を挟んでわずかに二〇mしか離れていない。

8 木簡の積文・内容

- | | | | | | |
|-----|---------|------|------------|------------|-----|
| (1) | □刀自女 | 〔若カ〕 | (60)×21×3 | 081 | |
| (2) | □一木せん申受 | □二升 | 〔竹カ〕 | (160)×30×6 | 081 |
| (3) | □本 | 〔橋カ〕 | 195×(28)×6 | 081 | |
| (4) | □四斗六升 | | 200×(24)×6 | 081 | |

(5) 「左」
「一升」

118×37×9 011

(6) 「志らふ」
「乃カ」
「□<□□□」

312×33×12 011

(7) 「彌」
「弥」

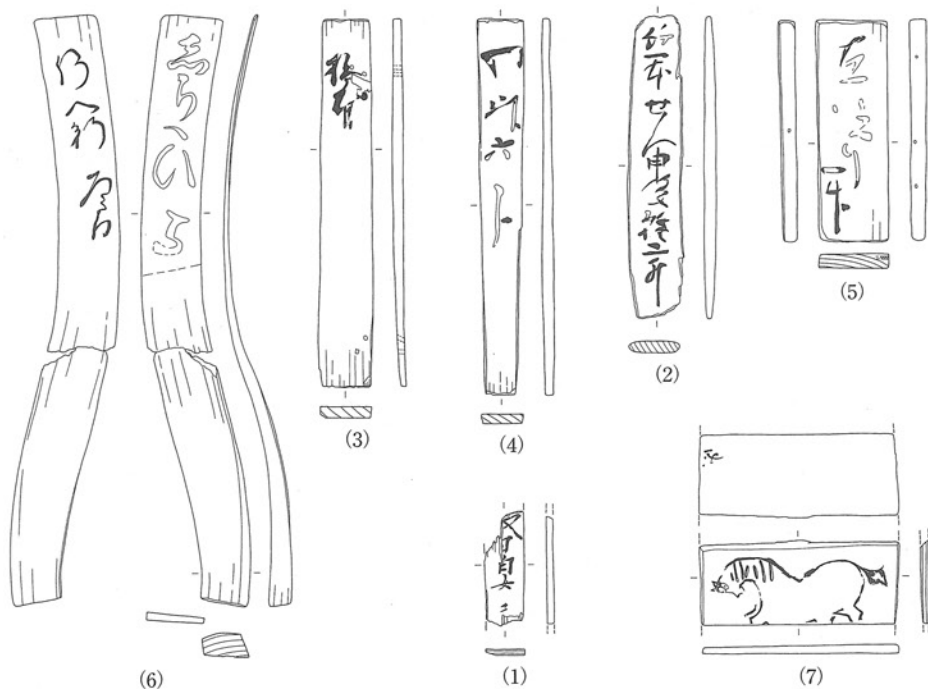
「弥」

「□」

(45)×105×5 061

(1)は、旧河道の七世紀から八世紀の包含層から出土した。上下は欠損しているが、左右は削られたままで、欠損はない。一字目の旁は「父」もしくは「反」、下に「刀自女」の三文字がある。少し間が空いて「若」らしい文字がある。中村遺跡周辺の出土文字資料に見える「刀自女」がついた女性名としては、伊場遺跡六一号木簡の「若倭部小刀自女」、城山遺跡一七号木簡の「竹田知刀自女」、梶子北遺跡墨書土器の「千刀自女」などの例がある。

(2)は、旧河道の中世後半～近世初頭の包含層から出土したもので、詳細な年代は限定できない。(2)は、上下の端部が腐食している。(3)の「橋本」は、人名か地名であろう。(4)は斗量を記すが物品名は不詳。(5)(6)は墨がほとんど消失し、文字は浮き上がって残存している。(5)は、「左」の下に人名があったと思われる。(6)は、ヒノ



キの割り材を整形しないまま使った粗い作りのもので、「志らふ」と読めるが、意味は不明である。裏面にも文字はあるが、釈読できない。これまで古代の木簡の出土しか知られていなかった中村遺跡で、他の遺構・遺物と結びつく(2) (6)のような中世以降の木簡が確認されたことは、遺跡の性格を考えていく上で重要な成果といえよう。

(7)は、旧河道の八世紀代の包含層から出土した絵馬である。上辺と下辺を少しずつ欠いている。文字は裏面に一文字確認できるが、読み取れない。

(鈴木敏則)

静岡・箱根田遺跡

はこねだ

- 1 所在地 静岡県三島市安久
- 2 調査期間 一九九九年(平11) 十二月～二〇〇〇年五月
- 3 発掘機関 三島市教育委員会
- 4 調査担当者 寺田光一郎
- 5 遺跡の種類 官衙(津)跡か
- 6 遺跡の年代 八世紀後半～一〇世紀
- 7 遺跡及び木簡出土遺構の概要



(沼津)

箱根田遺跡は、伊豆半島北部に所在し、東側に箱根山、北側に富士山を望む田方平野の中央部に位置する。遺跡は、駿河湾に注ぐ狩野川の支流である大場川の右岸に所在し、一九〇〇㎡の範囲に広がる。調査地点の東側は同河川の溢流堆積物が形成した微高地で、北から西側には条里水田が展開している。

今回の調査は店舗建設に伴うもので、三八八㎡を